

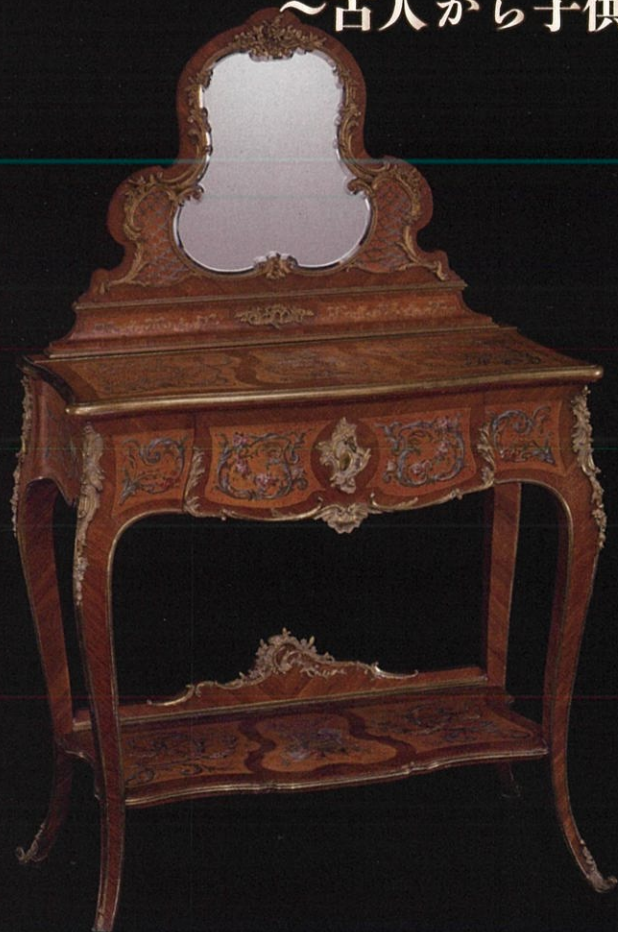


オルゴール博物館展

in 半田赤レンガ建物

いにしえびと

～古人から子供たちへ 音色の架橋～



2022 年 10 月 6 日 (木)～16 日 (日)

実施時間：平 日 10:00～19:00 (最終入館時間 18:00)

土日祝 9:30～21:00 (最終入館時間 20:00)

開催場所：半田赤レンガ建物 (愛知県半田市榎下町 8 番地)

主 催：京都嵐山オルゴール博物館実行委員会

後 援：半田市・半田市教育委員会・在日スイス大使館

協 力：半田赤レンガ建物・株式会社トヨタエンタプライズ

入 場 料：大人 ¥1,000 シニア ¥900 (60 歳以上) 中高生 ¥600 ※小学生以下無料 (保護者同伴)



イベント公式 HP はこちら

魅力① 世界最古のオルゴールの特別展示決定

魅力② オルゴール博物館展として、半田市で初開催

魅力③ 京都嵐山オルゴール博物館より出張にて、名物館員佐野による実演、解説決定

ご自宅に黒電話があった時代、保留音はオルゴールではなかったですか？

プレゼントとしてもらったオルゴールは、宝石箱？曲はエリーゼの為に？お人形がクルクルと回るもの？… このようなオルゴールに対して懐かしい思い出をお持ちの方はもちろんのこと、オルゴールにはじめて触れる方々、老若男女問わずお楽しみ頂けるイベントです。

少し大げさに聞こえるかもしれませんが、音楽史を彩ったオルゴールを様々なコレクションと解説によりご紹介します。

世界最古のオルゴールをはじめ、オルゴールの黎明期に製作されたオルゴール付き宝飾品や懐中時計、極めて小型のオルゴールを内蔵した“つけばくろ入れ”や“気付けのために”舞踏会などで使用された小物、“手紙の封印をするための印章”。そして、オートマタ（自動人形）は、実際に片手で逆立ちをする道化師や、水をのむ熊、人間のように自然に柔らかに息をしたり、瞬きをしたりする蛇つかいの女性、小鳥が籠の中でさえずり、飛び回るシンギングバードなど。さらに演奏機ではシンダーオルゴール、ディスクオルゴール、蓄音機、迫力のある演奏が楽しめるトランペットオルガンの自動演奏、ストリートオルガン等、2つのフロアで約50点のコレクションをご紹介します。

ぜひこの機会にご来場いただき、オルゴールの世界を心ゆくまでお楽しみください。



世界最古のオルゴール

スイス（1796年）
オルゴール史上極めて重要な作品。ミュージックシール。



ピエロエクリヴァン

フランス（1895年）

エクリヴァンとはフランス語で「物書き」という意味。代表的作品。



スネークチャーマー

フランス（1900年頃）

瞬きや胸の動きがなまめかしい。実在した蛇使いがモデル。



ロココ調シンダーオルゴール

スイス（年代不詳）

細やかに装飾された鏡台。オルゴール内蔵。



バードケージ

フランス（1910年頃）

鳥が枝を飛び移る。水が流れる仕掛けがある。



アクセス

所在地 〒475-0867 愛知県半田市榎下町8番地

電車でお越しの場合

【名鉄河和線利用】住吉町駅下車東徒歩5分 【JR武豊線利用】半田駅下車北西徒歩15分

お車でお越しの場合

【知多半島道路利用】半田中央インターより東へ車で10分

イベントの駐車場は、隣接のナゴヤハウジングセンター半田会場との共用となっております。

【北駐車場】323台（うち、名古屋ハウジングセンター用駐車場199台）

【南駐車場】38台 【バス】4台

新型コロナウイルス感染防止策を講じて開催します。公式サイトをご確認の上、ご来場ください。